



# 木葉小便り

令和5年1月31日(火)発行

文責 校長 吉野 新吾

寒くても元気です!(1月25日)

## 地域の子供たちが賢くなります

1月24日(火)3年生「大豆の学習」(総合的な学習の時間)に「くまもと ふるさと食の名人」西村 陽子さん(山北在住)を招いて、きな粉づくりを体験しました。3年生が6月から育てた大豆をきな粉にする学習でした。子供たちは、きな粉が大豆からできることを知り、「なぜ石臼を回すと粉になるのかな?」という疑問には、石臼を分解して見せてもらい、石臼の仕組みも教えていただきました。2月には、味噌づくりを学ぶ予定です。

教科書や動画にない体験を通して体で学ぶ機会となり、またひとつ木葉小の子供たちが賢くなったことを感じました。「学校とは、子供が賢くなり、自信のつくところでなければならない」と常に考えています。



西村 名人

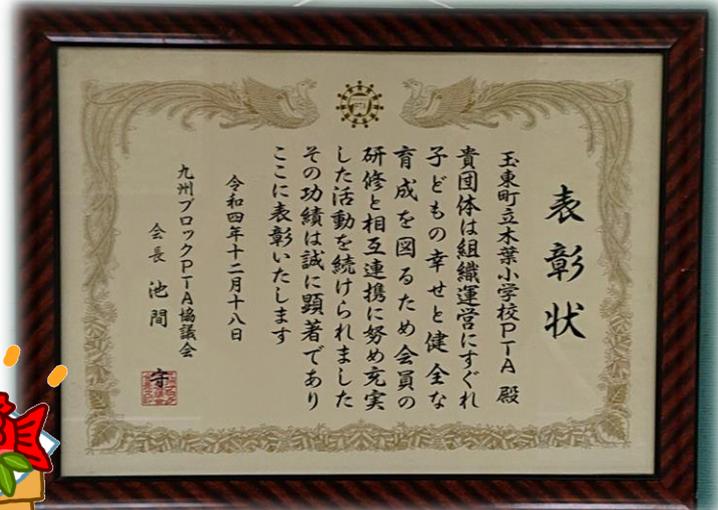
## PTA活動 九州ブロック表彰

### おめでとうございます

12月に沖縄で開催された九州地区PTA研究大会で木葉小のPTAが団体表彰を受けました。

堤 聡 副会長が大会に参加し、表彰状を受け取られました。特に今回は、元日の木葉山登山の活動が評価されての表彰とのことでした。これまでの木葉小の PTA 活動が認められたこととなります。歴代のPTA会員の方々のお陰で今回の表彰がある訳です。

校長室入り口の廊下に掲示していますので、来校の際には是非ご覧ください。



## 木葉っ子 育っています

先日、学校にマンションに住む方からうれしい電話がありました。友達の家遊びに来た女の子(1年生)が間違えて、隣に住む電話の方の家のチャイムを鳴らしてしまったそうです。間違いに気づいた女の子の礼儀正しいお詫びの姿に感心しましたということでした。「木葉小は、よい子が育っていますね。」と伝えていただきました。学校でもしっかり褒めておきました。また、別の地域の方からは「登下校で気持ちよく挨拶をしてくれますよ。」という声を届けていただきました。本当にありがたい声です。



更に「校長先生!おはようございます!」と大きな声であいさつをして、我が家の前を登校していく子供たちもいます。玉東町民の校長としては、うれしい限りです。

地域の中で、いけない言動はしっかり叱り、よい言動はしっかり褒め、育てて欲しいと願っています。

## いい年になりそうな予感!

1月17日(火)木葉猿窯元の川俣様より、今年の干支のうさぎの寄贈(写真左)がありました。

郷土の伝統文化として、子供たちは木葉猿のことも学んでいます。さっそく職員室前に飾らせていただきました。地域に支えられながら学校の教育活動が進んでいきます。本当にありがたいものです。

